

あなたを
守りたい!

困っている人、
苦しんでいる人をなんとかしたい。
誰もが持っている
その想いが赤十字です。

赤十字 やまぐち

Yamaguchi Japanese Red Cross Society



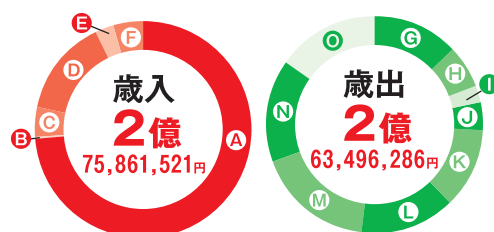
山口県日赤紺綬有功会 赤十字“いのち・健康・尊厳”フォトコンテスト 特選 林 良子様作品

平成28年度日本赤十字社山口県支部 決算報告

皆様からの支援資金をもとに、
人間のいのちと健康、尊厳を守る活動を
続けています。

▲ 社資収入	203,544,196円
● 本社交付金収入	912,000円
● 繰入金収入	11,800,000円
● 貸付金償還金収入	40,000,000円
● 雑収入	7,990,555円
● 前年度繰越金	11,614,770円

● 災害救護	34,266,483円
● いのちと健康を守る講習普及	16,693,770円
● 赤十字ボランティアの育成・活動促進	6,440,866円
● 未来につなぐ青少年赤十字活動	11,264,022円
● 国際活動、赤十字の全国的事業	30,986,571円
● 市町の赤十字事業	37,604,848円
● 赤十字思想の普及等	46,080,556円
● 償還金の支出	40,000,000円
● 支部の運営費	40,159,170円
● 翌年度繰越金	12,365,235円



※人件費は歳出全体の約3割です。
※赤十字病院、血液センターは施設ごとの特別会計になっており、
この決算には含まれていません。

赤十字やまぐち 活動レポート

これらの活動すべては、皆様からの支援資金に支えられています。ありがとうございます。

日本赤十字社は、世界190の国と地域にある赤十字社の一つです。
日本赤十字社法という法律に基づく認可法人であり、独立した民間の団体です。

詳しくは <http://www.yamaguchi.jrc.or.jp>



3/11 災害救護訓練

日赤山口県支部



赤十字救護員として必要な知識・技術を身に付けるため、医師・看護師・主事・防災奉仕団を対象に実践的な訓練を行いました。

5/28 山口県総合防災訓練に参加

下関市長府



大雨による土砂災害や大地震発生を想定した訓練に、日赤支部から救護班1個班が参加。アマチュア無線奉仕団や防災奉仕団と共に他機関との協働・連携を図りながら、本番さながらの実働訓練を行いました。

九州北部豪雨・熊本地震義援金の募金レノファ山口FC

維新百年記念公園陸上競技場



7/29に九州北部豪雨の災害義援金を、8/5に熊本地震災害の義援金を募り、来場者より多くのご協力をいただきました。



災害救護訓練

8月



韓国赤十字社との 青少年赤十字相互交流事業

1日から5日まで、韓国蔚山広域市の小学生メンバーおよび指導者計9名を受け入れ、ホームビジットや県教育長表敬訪問、また県内の小学生が参加するリーダー養成宿泊研修へ合流するなど、国際理解を図り親善を深めました。
9日から13日までは、県内の小学校メンバーおよび指導者計9名を蔚山広域市に派遣し、赤十字サマーキャンプへの参加、ホームビジットなどを行いました。また両国の文化紹介では、書道や将棋、折り紙、お手玉、リコーダー演奏などを披露しました。（この事業は一部、株式会社丸九様の寄付により行っています。）

8月 リーダー養成宿泊研修



リーダーシップを学ぶため、防災の学習や野外活動プログラム等、県内の赤十字加盟校が集まり、宿泊研修を行いました。小学生の部には韓国青少年赤十字メンバー6名も参加し、国際交流を行いました。（中学生の部は台風接近により中止）



未来につなぐ青少年赤十字

義援金受付状況



日本赤十字社にお寄せいただいた義援金は、被災県に設置される義援金配分委員会に全額送金され、同委員会が定める配分基準に従って被災者へ届けられます。

受付中 東日本大震災義援金 1,433,793,373円 (平成29年8月31日現在) 平成30年3月31日まで	受付中 平成28年熊本地震災害義援金 195,128,098円 (平成29年8月31日現在) 平成30年3月31日まで	受付中 平成29年7月5日からの大雨災害義援金(九州北部豪雨災害) 19,331,703円 (平成29年8月31日現在) 平成29年12月28日まで
秋田県大雨災害義援金は、受付期間を終了いたしました。ご協力いただきありがとうございました。		
——海外救援金についてもご協力をよろしくお願いいたします。——		
受付中 中東人道危機救援金 平成30年3月31日まで	受付中 2017年南アジア水害救援金 平成29年10月31日まで	

4月~ 水の事故に備え、講習会を各地で開催



プールや海・川など、水の事故を防止するための講習や救急法等の講習を168回、約6400名を対象に学校やスポーツ施設等で行いました。

いのちと健康を守る講習普及

6/1 気象庁長官表彰を受賞

気象台・予報士会とともに学校等で行っている「災害からいのちを守るための防災教育を推進する取り組み」が表彰されました。



赤十字思想の普及

赤十字色にライトアップ

赤十字サポーターの三宅商事様ほか2つの施設が、赤十字色にライトアップされました。



三宅商事ビル



豊北歴史民俗資料館



海峡ゆめタワー



5/14 一日赤十字と看護の日 ふれあいフェスタ

おのだサンパーク

小野田赤十字病院看護師、職員らによる健康チェックには行列ができ、中でも今年から新たに追加した物忘れ測定、肌年齢測定、血管年齢測定が人気を呼びました。血液センサーは献血協力を呼びかけました。



3月 私たちは、忘れない。~未来につなげるプロジェクト



3/11



復興応援イベント ザ・モール周南

被災地を忘れない想いを持ち続けることと、私たちも災害に備えておくことの重要性を訴えるため、生協まつりや6時間リレーマラソンへ参加。また東日本大震災チャリティライブを協賛しました。
期間中は、県内の赤十字サポーター6社もこのプロジェクトに参加。赤十字ボランティアや日赤職員等と併せ県内総勢1万6名がバッジを着用し、ポスターの掲示、リーフレットの設置・配布やイベント参加等を通じ「忘れない」想いを伝えました。

習って良かった!

いのちを守る

赤十字の防災・減災講習

赤十字社では、地域住民を対象に、災害からいのちを守るための知識と技術を学ぶことができる講習を実施しています。

これまでに
行った
プログラムの
一例

非常用持ち出しリュックづくり



講習時間
目安
2時間

助け合いMAPづくり



講習時間
目安
30分

講習内容の一例



炊き出し用袋を使った非常食の炊き出し
目安 60分



ロープワークなど避難所等で役立つ技術
目安 30~60分



防災・減災のお話
目安 60分

赤十字サポーター募集

~社会貢献のための
パートナーシップを赤十字と~

一定額以上の活動資金の納入に加え、日赤の事業・活動に参加・協力していただける企業・団体様を『赤十字サポーター』として募集・登録し、認定証を交付し、ホームページ等で公表します。

赤十字サポーター認定企業・団体様

- ・株式会社西京銀行 様
- ・株式会社丸九 様
- ・株式会社三宅商事 様
- ・生活協同組合コープやまぐち 様
- ・シーモールもののせき 協同組合 様
- ・一般社団法人 生命保険協会山口県協会 様

協力一例

商品に貼る、店頭貼るなどご使用方法については何でもご相談ください!

赤十字支援マークを表示して
売上の一部を寄付



企業名入り
災害救護用品等の寄贈



わたしたちは日本赤十字社の活動を支援しています。



募金箱の設置



寄付つき自動販売機の設置

講習・サポーター登録など各種お問い合わせは

日本赤十字社山口県支部
TEL 083-922-0102

携帯・スマートフォンからはこちらから
<http://www.yamaguchi.jrc.or.jp>



